

# 段階的な交配親集団の改良と花性制御技術を活用した カキの新品種育成

- 実施期間：令和6～10年度
- 担当部署：果樹・農産物利用部
- 区分：重点研究

## ○研究内容

産地が求める「良食味」「多収量」「良着色・良日持ち」といった特性を持つ新品種、交配親に活用できる有望系統の作出を、育種効率向上につながる「甘渋性・雌雄性マーカー判別技術」のほか、新たな技術（富有柿、種無し柿など雄花が咲かない主要経済品種間の交配を可能とする花性制御技術）の有用性検証と活用を図りながら進めます。また、新品種導入の際の苗木供給を円滑に進めるための挿し木繁殖技術を確立します。

